

3-ii. スクールカウンセラーからみた課題

① スクールカウンセラーの立場からみたアンメット・ニーズ

長谷川 由美 | 住吉 太幹

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

1. はじめに

学校におけるメンタルヘルスへの取り組みには、いろいろな“アンメット・ニーズ”があると思われる。本章では学校と医療保健機関との連携の難しさについて、筆者が小学校・中学校・高等学校にスクールカウンセラー（以下SC）として、また、病院で心理職として勤務している中で実感していることを述べる。

2. SCの勤務と活用の問題点に関して

スクールカウンセラー活用事業は、平成7年度に全国で、154校に配置されたことから始まり、年々中学校への配置を拡大してきた。配置・派遣校は全国10,000校を超え、公立学校への配置がすすめられている。しかし、小学校や高等学校は派遣校となっていることが多く、配置が十分とは言えない。文部科学省の『スクールカウンセラー等活用事業実施要領』によると、「公立高等学校へのスクールカウンセラー等の配置については、事業の実施に係る配置校の総数の10%以内を目安とする。」とされている。高等学校に通う生徒の年齢はメンタルヘルスの問題を抱えやすい時期であるため、連携強化のためにも早急に高等学校へのSCやスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置を進めるべきである。

また、配置校への勤務に関しても週に1回、5～8時間であることが多く、その中で児童・生徒、またその保護者のカウンセリングや教職員へのコンサルテーションを実施する必要がある。そのような中でSCのニーズが高まり、相談者数も増えてきている。カウンセリングのみで1日の派遣時間を超過してしまう傾向があり、教職員へのコンサルテーションの時間確保が難しい状況が指摘されている。SCが学校の窓口となり外部機関と連携しやすいような制度作りやSCへの支援が必要である。

3. 学校と医療保健機関との連携に置いてSCが果たす役割と難しさ

不登校やいじめの予防・解消が中心的な目的となるSC活用事業だが、それらの問題の背景にある

発達障害、精神疾患、家庭の問題等多岐にわたる問題の解決が必要となる。SCは学校において「このころの専門家」と言われることが多い。そのような中で、アセスメントをもとに医療機関の受診を勧めることや医療保健機関との連携役を担うことも多い。しかし、子どもの医療機関の受診には保護者の意向が大きく関わっており、受診を勧めても保護者の受診動機が低い場合、受診に至らないことが多い。受診を勧めたいにも関わらず、SCとの面談を勧めても、家庭の事情から面談に訪れない保護者もいる。また、児童・思春期精神科の数が十分でなく、初診への待機期間が長いことから、受診を躊躇する、受診を先延ばしにしてしまうケースも多く見られる。

SC自身の問題や制度上の問題から医療保健機関との連携が難しい場合もある。SCの問題として、勤務校周辺の医療機関等の情報を知らないことが挙げられる。ケースによりどのような場所に紹介すべきかの判断が難しい。筆者自身、勤務時間外に医療機関の情報収集を行っている。そのような中で、どのような資源があるかを知っているSSWとの連携も必要だと考える。他には、本冊子に掲載されているような医療施設や児童福祉施設をまとめた冊子の配布、紹介先と情報交換のしやすい方法の提供、例えば、周辺の医療機関との顔合わせの機会を設けることなどで、学校と医療・福祉が連携しやすくなるのではないだろうか。

また、受診に繋がったあとの連携の問題点として、医療機関と情報共有ができないという現状がある。学校としては医療機関の見立てを聞き、今後の支援方針を考えたい一方、医療機関も多忙であることや、報酬に繋がらないことから、ケース会議に出席してもらうことができないことも多い。そのような場合、学校側として、どのように児童・生徒へ支援を行うかの見通しをもてなくなってしまう。また、精神的・心理的問題は経時的に変化していくので、ケースに関わる機関が一時点でのケース会議ではなく、継続的に連携できるシステム作りをしていく必要があると考えられる。

4. 今後の改善点

以下に学校と医療保健機関との連携において、筆者が改善されると良いと思われる点をまとめた

- ・小学校、高等学校へのSC配置の拡充
- ・SCの配置時間や日数の増加
- ・児童・思春期を診ることができる医療福祉機関の情報の提供
- ・学校と医療福祉機関が連携しやすい仕組み作り（オンラインでのケース会議等）
- ・SCや養護教諭から紹介状や情報提供書を作成できる仕組み作り
- ・医療機関におけるケース会議の保険点数化
- ・ケース会議など連携事業の取りまとめをする役割の人材確保

5. 参考文献

- ・平成29年度 スクールカウンセラー等活用事業 実践活動事例集
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1411196.htm
- ・スクールカウンセラー等活用事業実施要領
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1341500.htm